

MOVING

ムービング

2021.6 vol.94



CONTENTS

ムーブフェスタ2021 7月3日(土)~24日(土) ②

特集 |『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』を読み解く ④

誌上講座 [第1回] | 新型コロナが女性におよぼす影響と課題
コロナ禍で浮き彫りになった女性雇用の問題点とその対応策 ⑥

講座報告・お知らせ ⑦

ムーブ実施事業年間スケジュール ⑧

Cutting-Edge ⑩

ムーブフェスタ 2021

男女共同参画へのムーブメント
7月3日土→24日土

オープニングイベント 近藤サトさん講演会 自分らしさとは何か ～自然体で生きるということ～

アナウンサー・ナレーターの近藤サトさんがムーブへやってきます。
グレイヘアを隠さず自然体で生きる近藤さんの姿から、今の自分を
大切にする生き方と一緒に考えてみませんか。

入場
無料

7月3日(土)
13:30~15:00

【会場】ムーブ 2階 ホール 【定員】250名

【託児】有(6ヶ月~就学前のお子さん)

※要予約(1人500円)

要事前申込 → 申込締切 6月17日(木)

※申込多数の場合は抽選

新型コロナウイルス感染状況によりオンライン登壇への変更の可能性があります。

お申込み・お問い合わせ

事業課 TEL : 093-288-6262 FAX : 093-583-5107
E-mail : event@move-kitakyu.jp

電話、FAX、ムーブホームページ、QRコードにて受付

申込事項／郵便番号、住所、氏名、電話番号、託児を希望する場合はお子さんの名前と月齢



【プロフィール】

1968年、岐阜生まれ。日本大学芸術学部放送学科卒業後の1991年、フジテレビにアナウンサーとして入社。報道番組や情報番組などを担当。1998年9月、退社。フリーランスに転身後は、落ち着いた声質を生かして『有吉反省会』などのナレーションを中心に活躍中。また、母校である日本大学芸術学部放送学科特任教授も務める。



マガジンリサイクル

7月3日(土)～ なくなり次第終了

火～土曜日 9:30～19:00

日曜日 9:30～17:00



図書室の蔵書のうち、保存期限を過ぎた雑誌などを無料配布いたします。(お一人様10冊まで)なお、人の密集を避けるため、蔵書は少しずつ出していくます。

市民企画事業

市民団体の企画で、講演会、コンサート、映画上映、体験講座などの催しを行います! 子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさんです。

【会場】ムーブ 1階 図書室入口
【お問い合わせ】情報課 TEL : 093-583-5082

イベントステージ アジアの風を感じて

～馬頭琴・二胡・箏コンサート～



マンダルワさん

13:00～13:45
馬頭琴の演奏とお話

13:50～14:20
箏の演奏

14:30～15:00
二胡とピアノの演奏



NPO法人和楽啓明のみなさん



おひかねまりこ
帯金 真理子さん
たにぐち としこ
谷口 淑子さん

アジアの伝統的な楽器による演奏

北九州市は、文化芸術による発展を目指す「2021年東アジア文化都市」の選定都市です。この機会にモンゴルの馬頭琴、中国の二胡、日本の箏などアジアの国々の伝統的な楽器の音色に親しみ、弦の美しい響きにアジアの風を感じてみませんか。

北九州市を中心に活躍する演奏家による素敵な音色をどうぞお楽しみください。

【お問い合わせ】事業課 TEL : 093-288-6262 FAX : 093-583-5107 E-mail : event@move-kitakyu.jp

サマーカーニバル

7月17日(土) 10:00～15:30

入場
無料

【会場】ムーブ 2階 ホール

ダンスや音楽の演奏、手品などでステージを盛り上げます。
お見逃しなく!

事前申込不要



行列のできる!? 法律相談Q&A

参加
無料

離婚にまつわる問題や、ご近所トラブルなど弁護士の視点からクイズ形式でわかりやすく解説します。

7月17日(土) 13:00～13:30

【会場】ムーブ 2階 ホール
(ムーブフェスタ サマーカーニバル)
【定員】100名 【講師】法テラス 弁護士

フリーマーケット

【会場】ムーブ 1階 交流広場

雑貨・アクセサリー・衣類など、さまざまな種類のお店が出店します。



■第24回 ジェンダー問題 調査・研究報告会は中止となりました。
■新型コロナウイルス感染症の拡大状況などにより、日程、人数、会場、内容などについては変更の可能性があります。

お知らせ



特 集

『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』を読み解く

このたび、ムーブが作成した『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』を拝見し、本書が2008年、2014年に続く3回目の発行であることを知った。男女共同参画統計作成に2008年から取り組まれていたことは、北九州市の男女共同参画に対する意識の高さと理解の深さを示している。本稿では、2020年版を読み解き、北九州市の男女共同参画の現状とその特徴を明らかにしたい。

1. 男女共同参画統計について

本題に入る前に男女共同参画統計について、その内容と歴史的変遷を述べておきたい。男女共同参画統計（ジェンダー統計とも呼ばれる。本稿では引用文献に従い、両表記を用いる）は、女性と男性の実情を数値データで示し、女性と男性に生じている問題（ジェンダー問題）を明らかにし、それらの問題解決に向けた政策等を検討し、評価することを目的とした統計である。男女共同参画統計を強化する取り組みは、国連を中心に1995年の第4回世界女性会議前後で大きな盛り上がりを見せ、日本では男女共同参画計画実施において活用されるようになった。

国連による歴史をさかのぼると、1970年代、1980年代は女性の状況を統計で明らかにすることが主眼であった。1990年代前半に第4回世界女性会議に向けたジェンダー統計の作成が各国で開始され、1995年に採択された「北京行動綱領」にジェンダー統計の整備、充実が明記された。これにより、「女性の統計」から「ジェンダー統計」に変化していく。第4回世界女性会議以降は、2006年に国連統計委員会・国連統計部が世界ジェンダー統計計画を立ち上げ、ジェンダー統計に関する機関間専門家グループ（Inter-Agency and Expert Group Meeting on Gender Statistics；IAEG-GS）を発足させ、世界のジェンダー統計活動を前進させていく。^{※2}

国内では2007年の統計法改定下に策定された第Ⅲ期統計基本計画（2018年度～）で「可能な限り性別ごとのデータを把握し、年齢別・都道府県別にも把握・分析に資する統計の作成・提供を推進すること」が述べられ、^{※2}さらに第5次男女共同参画基本計画、SDGs実施指針においても性別データの把握、男女共同参画統計の必要性が示された。北九州市の男女共同参画統計データもこうした流れの中で作成されたと考える。男女共同参画は人々の生活に根差し、日常を過ごす場所である地域レベルで展開するため、各地域でのジェンダー問題の把握が極めて重要である。次節では、『北九州市の男女共同参画統計



お茶の水女子大学 基幹研究院 教授

さいとう えつこ
斎藤 悅子さん

プロフィール
明治大学大学院経営学研究科、昭和女子大学生活機構研究科修了。1997年に昭和女子大学より博士号受与。岐阜経済大学教授を経て、2010年よりお茶の水女子大学へ着任。専門は生活経済学、生活経営学、ジェンダー論。近著『ジェンダーで学ぶ生活経済論』（ミネルヴァ書房）。

データ集 2020』（以下、『データ集 2020』とする）から北九州市の現状を全国平均と比較することで、その特徴を示してみる。

2. 北九州市の特徴—全国との比較から—

(1) 「指導的地位」に女性が占める割合

『データ集 2020』の特集として冒頭を飾る“北九州市の各分野の「指導的地位」における男女共同参画状況”は大変興味深い。北九州市で「指導的地位」に3割以上の女性が就いている職業は、市区町村審議会委員（52.5%、全国26.8%）、教育委員（40.0%、全国43.6%）、短大講師以上（51.0%、全国49.2%）、歯科医師（66.7%、全国23.8%）、薬剤師（73.0%、全国65.6%）で、市区町村審議会委員と歯科医師の女性割合は、全国平均を大幅に上回る。3割には届かずも全国平均より女性割合の高い職業は、市区議会議員（21.1%、全国16.6%）、民間事業所（100人以上）における課長相当職以上（14.7%、全国9.9%）、公認会計士（21.1%、全国14.4%）、校区自治会長（16.6%、全国5.9%）である。小学校、中学校、高等学校の教頭以上もわずかに全国より高い割合を示している。社会のあらゆる分野で「指導的地位」に女性が占める割合を少なくとも3割程度とするとした目標の達成は、現在の日本の喫緊の課題であるが、北九州市では全国平均を超える分野が多数ある。今後、さらに分野を拡大し、女性割合を増やしていくことが期待される。こうした結果の背景には、北九州市において1960年代から開始された地域課題解決のための女性リーダーの育成活動^{※3}が存在していると考える。

(2) 「女性が職業を持つこと」に対する考え方

『データ集 2020』の第2章、図26と表1に示された「女性が職業を持つこと」に対する考え方について、北九州市は全国平均と大きく異なる傾向を持つことがわかる。全国では男女ともにどの年代も継続型（女性はずっと職業を持っている方

表 「女性が職業を持つこと」に対する考え方について（北九州市と全国）

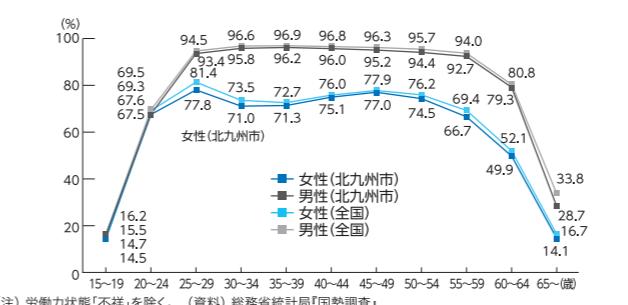
年齢	継続型		中断型		継続型～中断型				
	北九州		全国		北九州				
	女性	男性	女性	男性	女性	男性			
女性	20歳代	50.8	58.1	-7.3	32.3	21.8	10.5	18.5	36.3
	30歳代	46.3	68.4	-22.1	47.0	23.2	23.8	-0.7	45.2
	40歳代	47.4	73.7	-26.3	41.5	19.2	22.3	5.9	54.5
	50歳代	43.7	74.1	-30.4	49.2	12.6	36.6	-5.5	61.5
	60歳代	35.5	66.3	-30.8	55.3	20.9	34.4	-19.8	45.4
	70歳代	33.6	49.3	-15.7	51.2	21.4	29.8	-17.6	27.9
	20歳代	31.3	42.7	-11.4	50.0	30.8	19.2	-18.7	11.9
男性	30歳代	34.3	62.9	-28.6	47.8	23.4	24.4	-13.5	39.5
	40歳代	36.4	57.0	-20.6	53.6	25.8	27.8	-17.2	31.2
	50歳代	35.3	68.4	-33.1	54.3	16.3	38.0	-19.0	52.1
	60歳代	30.5	61.8	-31.3	58.3	18.5	39.8	-27.8	43.3
	70歳代	17.1	52.9	-35.8	69.7	18.5	51.2	-52.6	34.4

（注）20歳代について内閣府データは18～29歳を用いた。

（資料）『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』、内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月調査）斎藤が作表。

がよい）が中断型（子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなったら再び持つ）を上回り、継続型が主流である。P.4の下に示す表は筆者が継続型と中断型を抜粋し、年代別に北九州市と全国を比較したものである。北九州市で継続型が中断型を上回るのは、女性の20歳代と40歳代だけである（表の「継続型～中断型」を参照）。継続型の20歳代を見ると、北九州市は全国に比べ女性は7.3%、男性は11.4%少ない。一方、同年代の中断型は、女性は10.5%、男性は19.2%も全国より多くなっている。年齢が上昇するにつれて全国との差は拡大傾向で、最も差が大きいのは70歳代男性の中断型で全国より51.2%も多い。北九州市では女性の職業について中断型が主流の考え方だが、年齢階級別の女性の労働力率が示すM字カーブの底となる30代の女性の労働力率は全国平均よりもわずかに低い程度である（同書の図31）。人々の考え方と実態の間に乖離があることがわかり、この乖離が女性の労働環境にいかなる影響を与えていたのかを詳細に考察する必要性を感じる。

図31 年齢階級別労働力率（北九州市、全国、平成27年）



(3) 男性の介護と「イクボス」への期待

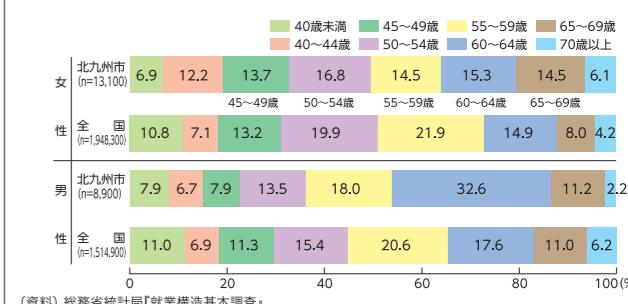
先に述べたとおり、男女共同参画統計とは女性だけでなく男性の現状把握も目的とする。本稿の最後に『データ集 2020』で男性について特徴的である第4章の図48「介護をしながら働いている人の男女別、年齢別割合」を取り上げる。

図48は、有業者で介護をしている男女別、年齢別割合を北九州市と全国で比較したものである。北九州市の女性では40歳未満と70歳以上を除き、どの年齢分類も10%から17%に納まっている。一方、北九州市の男性は年齢分類ごとの割合に大きな差があり、介護しながら働いている男性の32.6%が60～64歳である。全国平均を見ると、この年代の男性は

17.6%であるので、北九州市では約2倍となっている。

北九州市の第4次男女共同参画計画を拝見すると、「イクボス」による企業・地域への女性の参画やワーク・ライフ・バランスの推進が掲げられている。「イクボス」世代の60代前半の男性が、介護を担う男性の中で大きな割合を占めている事実は、ワーク・ライフ・バランスをボス自身が経験し、実践している証だろう。育児休暇と同様に介護休暇についても男女が取得できる職場環境の整備に向けた取り組みが強化されることが期待できる。

図48 介護をしながら働いている人の男女別、年齢別割合（北九州市、全国、平成27年）



3. 北九州市の男女共同参画に向けて

以上、『データ集 2020』から特徴的な3点を述べた。男女共同参画統計は当然のことながら、作成者のジェンダー問題への深い理解により生み出され、政策立案と実施の道具となり、公表によって当該地域の市民に男女共同参画への自覚を促し、統計を介して市民との対話・協力を創造する契機になりうるものである。

『データ集 2020』は、北九州市のジェンダー問題を熟知した作成者によって巧みに構成され、市民が理解しやすい形で公表されている。『データ集 2020』を読んだ市民は、自らが暮らす地域の男女共同参画状況を認識し、問題解決へ関心を持ることが可能となるであろう。本書が多くの方々に読まれることで、北九州市の男女共同参画がますます前進することを確信する。

引用文献

- *1 伊藤陽一（2009）「I部 ジェンダー統計活動の国際的展開」『研究所報38 ジェンダー（男女共同参画）統計 II』日本統計研究所、pp.1-13.
- *2 杉橋やよい（2019）「国連と日本のジェンダー統計活動の展開—ジェンダー統計の充実に向けて—」『労働調査』7月号、pp.4-15.
- *3 中野洋恵（2014）「第2章 地域と国立女性教育会館の女性リーダー育成事業」『NWEC 実践研究』国立女性教育会館、pp.18-31.

冊子発行案内

『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』

■発行 令和3年3月

『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』を発行しました。各種統計データを基に、北九州市のさまざまな分野における男女共同参画の状況や意識などの変遷をわかりやすくまとめたものです。『北九州市の男女共同参画統計データ集 2014』のデータを6年ぶりに更新し、経年変化を見ることができます。

多くの皆さまに活用していただきたい1冊です。

ムーブのホームページからダウンロードすることができます。

【お問い合わせ】情報課 TEL：093-583-5082



誌上講座〔第1回〕

テーマ
新型コロナが女性におよぼす影響と課題

コロナ禍で浮き彫りになった女性雇用の問題点とその対応策

2020年、新型コロナウイルスの感染拡大によって、世界各國で雇用環境が悪化しました。とりわけ、今回のコロナ禍では、女性の雇用悪化が目立っており、「女性不況」とも呼ばれています。総務省の労働力調査(毎月4万世帯を全国から偏りなく選び、就業状況を調べている)をもとに、雇用への悪影響が最も大きく表れた2020年7~9月期の働き盛り世代※(25~54歳)の就業者数を男女別にみると、日本では、男性の前年比1.6%減に対し、女性は同2.8%減と1%以上も大きく減少しました(図1)。こうした男女差は、他の先進国に比べても大きくなっています。

(図1) 男女別の就業者数の変化
(25~54歳、2020年7~9月期、前年比)



日本で女性の雇用悪化幅が大きい理由は、以下の3つが考えられます。1つ目は、他国に比べてコロナ禍で雇用が減少しやすい対人サービス業の割合が高く、また、そうした産業での女性の就業者が多いという、産業構造要因です。

2つ目は、日本では、雇用調整されやすい非正規で働く女性が多いという、就業構造要因です。2020年7~9月期の就業者数(25~54歳)を正規・非正規別にみると、正規は前年比0.5%減と小幅な減少にとどまったのに対し、非正規は同6.7%減と大幅に減少しました(図2)。非正規の雇用はコロナ禍による業績悪化に伴い早い段階から削減の対象とされました。日本では非正規の7割が女性であることから、雇用減が女性に集中しました。

(図2) 正規・非正規別の就業者数の変化
(25~54歳、2020年7~9月期、前年比)



※ プライムエンジと呼ばれ、国際比較の際に多用される。



株式会社日本総合研究所 調査部 研究員

いのうえ れりな
井上 恵理菜さん

プロフィール

慶應義塾大学経済学部卒業。2011年に日本総合研究所に入社後、日本・米国・欧州のマクロ経済分析を担当。新聞や雑誌、テレビ等で経済情勢や政策に関する解説を行なっている。専門は経済政策。著書に『本当にわかる世界経済』。

3つ目は、外出制限で家事や育児といった家庭内無償労働負担が増加したため、女性の非労働化が進んだという要因です。特にコロナ禍では保育施設や教育施設の休園・休校により育児の負担が増加し、小さな子どもを育てる女性の就業者数が減少しています。

こうした状況下、これまで雇用調整助成金などを活用した雇用維持策によって、雇用の悪化を最小限にとどめる政策がとられてきました。もっとも、コロナ禍をきっかけに、デジタル化など社会変容・行動変容が急速に進んでいるため、コロナ以前に比べて必要とされる雇用の種類が変化しています。また、一時的な雇用の維持では、非正規比率の高さといったコロナ以前からある女性雇用の脆弱さの問題は解決されません。これらを踏まえると、以下の3つのような、より構造的な部分に切り込む対応が求められます。

1つ目は、産業構造の変化に対応した就業支援です。コロナ禍では対人サービス従事者を中心に300万人が大幅な収入減に直面していると推計される一方、労働力が不足している産業も多くあります。人々がこれまでとは違った産業で就業するためには、職業訓練が必要です。現在、日本の職業訓練に対する財政支出の規模は他国に比べて小さく、拡充が求められます。

2つ目は、多様で柔軟な働き方を可能にする雇用制度の変革です。具体的には、正規の働き方を多様化し、非正規から短時間正規への転換を促すことが求められます。現在、多くの女性が家事・育児との両立のために非正規を選んでいることを踏まえると、こうした政策は女性の雇用安定につながるとみられます。

3つ目は、長時間労働の是正と男女間での家事・育児負担の平準化です。日本では、女性の家事・育児の時間が男性の5倍超と先進国で最も偏りが大きくなっています。その要因は、男性の会社での労働時間が長いことにあります。正規労働者の残業時間規制などを通じて企業における長時間労働を是正していくことなどが女性の就業継続を後押しするとみられます。

以上のように、コロナ禍での女性の雇用悪化は、コロナ以前からある労働市場の二重構造(正規・非正規)とその背後にいる性別役割分業の問題を浮き彫りにしました。これらの問題の解決が、長期的な女性の雇用安定のために必要です。

講座報告

アンガーマネジメント 怒りとのつきあい方

令和3年2月6日(土)
ムーブ 5階 大セミナールーム



【講師】新開 よしこさん

怒りをなくすことはできません。そのうえでアンガーマネジメントとは、怒る必要のあることは上手に怒り、怒る必要のないことは怒らないようになるように、怒りの正体やメカニズム、コントロール方法など怒りとのつきあい方を学ぶことです。アンガーマネジメントができるようになると、他人や自分を傷つけず、モノも壊さず、怒ることで後悔しないようになります。

参加者は、講師のテンポよい話し方に引きつけられ、怒りとのつきあい方を日々の生活に生かせる講座だったと好評でした。



令和2年度 ジェンダー問題 調査・研究支援事業 報告書を発行!

テーマ
女性研究者の研究と育児の両立における葛藤と課題:福岡県内の大学を対象として

西南学院大学
博士研究員・非常勤講師
ひらかわ ちか
平川 知佳さん

ご希望の方はお問い合わせください。

【お問い合わせ】
情報課
TEL : 093-583-5082



北九州市総務局男女共同参画推進課からのお知らせ

市民向け啓発冊子『災害に備えよう～男女共同参画の視点から～』を発行しました

北九州市では、日頃から女性がまちづくりに参画し、リーダーシップを発揮していくよう、防災分野においても男女共同参画を推進しています。

このたび、地域における防災活動への参加や日頃から家庭で行える災害への備えについて、男女共同参画の視点で編集した冊子『災害に備えよう～男女共同参画の視点から～』を作成しました。

防災への関わりについて考えるきっかけとして、この冊子をご活用下さい。

お問い合わせ

北九州市男女共同参画推進課 TEL : 093-582-2405
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/soumu/12001155.html>



■配布場所
北九州市男女共同参画推進課、ムーブ

(公財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)からのお知らせ

第65回 国連女性の地位委員会(CSW65)報告会

2021年3月に開催されたCSW65の会議概要の報告と、会期中にKFAWが実施した若者向けパラレルイベントで自身の環境活動について発表した学生が、その概略と参加後の感想をお話します。

■日時 6月16日(水)14:00~15:30

■オンライン配信(Zoom)
(視聴会場) ムーブ 5階 小セミナールーム

■報告者 堀内 光子 (KFAW 理事長)

むらい みづこ
村井 夏輝さん(大学生)

ながた あやの
永田 理乃さん(大学院生)



お申込み・お問い合わせ (公財)アジア女性交流・研究フォーラム 企画広報課 TEL : 093-583-3434 Email : info@kfaw.or.jp

刊行物のご案内

アジア女性研究第30号
(2021年3月)



KFAWが毎年発行している研究誌です。本号はKFAW客員研究員の執筆による国際家族年や、新型コロナウイルスと女性をテーマとした論文などを収録しています。